

DRUG



INFORMATION

2010 No. 5

平成22年6月22日発行

製剤変更に伴う対応について

1) プレタール錠 2) ムコダインDS





岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

製剤変更に伴う対応について

1) プレタール錠 2) ムコダイン DS

先日の薬事委員会にて、5品目7規格の薬品が製剤変更となりました。このうち、今回掲載した2品目については処方オーダ等の対応を下記の通り実施しますので、よろしくお願い致します。

1) プレタール錠の製剤変更に伴う対応について

プレタール錠		プレタール OD 錠	
(50mg)		(50mg)	
(100mg)		(100mg)	

プレタール錠については、従来の「錠剤」から「OD錠(口腔内崩壊錠)」へ変更となります。オーダの変更は、院内処方(100mg錠)については院内の在庫がなくなり次第とし、院外処方(50mg錠、100mg錠)については7月1日(水)からとします。変更後は DO 処方は不可となりますので、継続投与が必要な場合は再登録をお願いします。

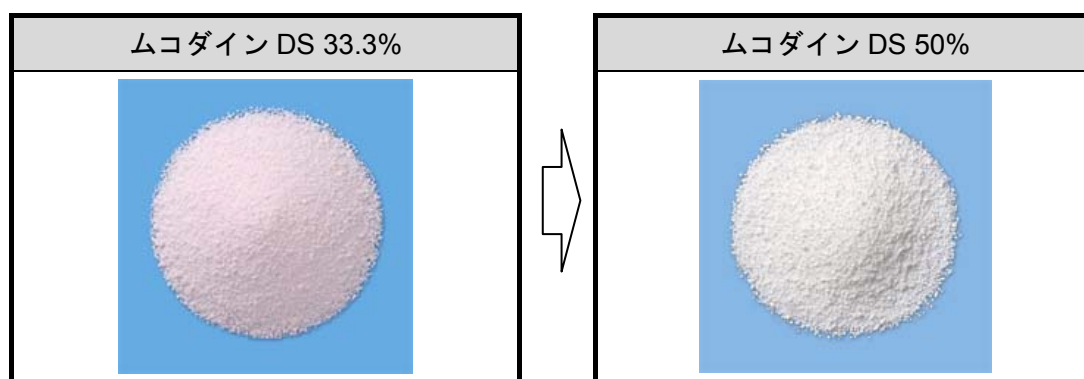
なお、各院外調剤薬局の在庫状況によっては錠剤の選択が必要となる場合も考慮されるため、当面の間、院外処方時の処方箋への薬品名印字様式については下記の通り、「プレタール OD 錠(プレタール錠変更可)」とし、従来の錠剤での投薬も可能な様式にすることとします。

OD錠(新製剤)の院外処方箋印字様式

プレタール OD 錠 50mg(プレタール錠変更可)

プレタール OD 錠 100mg(プレタール錠変更可)

2) ムコダイン DS(ドライシロップ)の製剤変更に伴う対応について



ムコダイン DS については、従来の「33.3%製剤」から「50%製剤」へ変更となります(規格変更に伴い、色調がピンク色から白色に変更となります)。オーダについては、院内の在庫がなくなり次第、院内・院外同時に変更することとします。変更後は DO 処方は不可となりますので、継続投与が必要な場合は再登録をお願いします。

なお、DS50%製剤への変更に伴い、従来から院外専用薬品として採用されている「ムコダイン細粒 50%」について、医療安全面を考慮した上で採用中止することが薬事委員会において決定されました。細粒 50%製剤は院外薬局での在庫がなくなり次第中止としますので、継続が必要な場合は DS50%製剤へ変更をお願いします。